

斜里町の基幹産業であるサケ・マス漁業は、その中でもサケの約8割を占めます。歴史は江戸時代からあり、第二次世界大戦後、増殖事業、港の整備、木材から引き上げられた魚などによる影響などによって大

漁獲量日本一の理由

斜里町とサケ・マス

～サケ・マス漁獲量 13年連続日本一の町～

サケ・マス漁獲量で13年連続日本一を記録している斜里町。また、斜里川は「河川別サケ捕獲数」「河川別カラフトマス遡上捕獲数」が日本一となるなど、サケ・マスとはとても深い関係があります。『地域の扉』第3号は知っているようで知らないサケ・マスについて紹介します。

生物学的には「サケ」と「マス」に明確な違いは無く、どちらもサケ目サケ科に分類されます。水揚量を集計する際には「シロザケ」「ベニサケ（ベニマス）」「ギンサケ（ギンマス）」「マスノスケ

サケとマスの違い



写真：岩尾別ふ化場（一社）北見管内さけ・マス増殖事業協会 提供

大きく発展していきました。斜里町のサケ・マス漁は川に遡上するのために沿岸に戻ってきた所を設置した定置網で漁獲するものです。知床半島を中心とするオホーツク海沿岸はオホーツク海から根室海峡を通る親潮や知床山地の恵などによりサケ漁にとって好適な自然条件が整っています。これに加え、サケには生まれた河に戻ってくる習性があるため、稚魚を放流する事にも力を投入しており、町内には6ヶ所ものサケ・マスふ化場があります。



住所：斜里郡斜里町真鯉
国道334号線のオシコンシンの滝の3キロ程手前に遠音別（おんねべつ）橋があります。駐車場から奥に進むと遠音別川が流れており、サケの遡上をみる事ができます。
写真：遠音別川（8月～10月）

放流されたサケは、北太平洋西部へ回遊し、そこで最初の冬を過ごします。そして、翌春にベーリング海に回遊し、ここで大きく成長していきまします。その後、ベーリング海とアラスカ湾を3～5年程度行き来し、成熟魚になります。そしてベーリング海から千島列島に沿いに南下して、9～12月頃、それぞれの母川に帰していきまします。そんな長旅を経て戻ってきたサケを見るのできる「サケスポット」の一つを紹介します。

サケ スポット

（キングサーモン）を「サケ」として、「サクラマス」「カラフトマス」を「マス」として区分しているようです。

サケの呼び方あれこれ

トキシラス

トキシラスは春から夏にかけて水揚されるシロ鮭で、アムール川生まれのものが母川に戻る前、回遊中に日本近海で漁獲されるものと言われています。特徴は若く産卵までに時間があることから、脂の乗りが良いです。

ケイジ

日本生まれのシロザケは生後4年～6年後に母川に戻ってきますが、その日本に戻る群れに混ざって戻り、水揚された生後1年～3年の幼魚が「ケイジ」です。こちらも産卵の準備に栄養を使わないため脂の乗りが大変よく美味しいです。漁獲量も少なく貴重です。

サケ・マスの中で最も多く水揚されるのが「シロ鮭」。一般的にはサケ、秋鮭、秋味とも呼ばれサケ・マスの代表格です。そしてこの「シロ鮭」を取れる時期や年齢、個体差などでさらに分類することもあります。その一例を紹介します。

メジカ

名前の通り、一般のシロサケに比べ口先と目が近いのが特徴です。産卵の数週間前に戻ってくるとされ、脂ののりも良く、「ケイジ」が有名になるまでは人気のある最高級品でした。



シロザケ

写真：（地独）北海道立総合研究機構提供

ギンケ

体色が銀色に輝いているものを「ギンケ」と呼びます。産卵のため川に近づくとつれ体食は「ブナ色」になることから、銀色のほうが脂の乗りが良いとされています。

支店のある町

津別町

第3回目は、津別町を紹介いたします。
津別支店西田支店長に、町のみどころを伺います。



津別支店
西田 支店長



《緑のふるさと愛林のまち津別町》を紹介します。

津別町は町総面積の86%を森林が占めており、木材加工・木製品の製造が盛んです。観光スポットとしては、津別峠からの景観はすばらしく特に雲海はとても幻想的です。また、21世紀の森キャンプ場では7月～8月にかけてはホテルの姿を見ることもできます。

おすすめのスポット

「チミケツプ」とは「崖を破つて水が流れる所」という意味で1万年前に谷がせき止められてできた湖と言われています。エゾマツ、トドマツを中心とする原生林が生い茂り、天然記念物のクマゲラをはじめとする40種余りの野鳥、キタキツネやエゾリスなどの野生動物が生息する神秘的な原始の森です。湖にはヒメマス、ウグイ、ワカサギ、マリモ等が生息しています。湖を取り囲む北側半分の原始林は「野鳥公園」となっており、おすすめの癒し空間です。

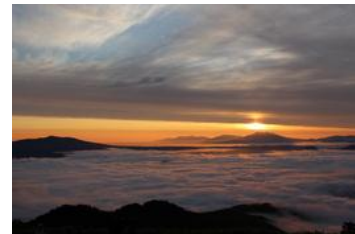
チミケツプ湖



写真：チミケツプ湖（津別町提供）

屈斜路・津別線のちよつとのぼった所に津別峠の展望台（標高947m）があります。建物の外観は、中世ヨーロッパの古城をイメージした森の城郭で、眼下には360度のパノラマが広がるオホーツク海、雌阿寒岳、雄阿寒岳の稜線、さらには大雪連山まで見渡すことができます。条件がそろえば早朝、屈斜路湖を覆いつくす様に広がる雲海を望むことができます。津別町ホームページからはライブカメラの情報も確認できます。

津別峠



写真：津別峠から望む雲海（津別町提供）

おすすめのお店

ロマンス製菓 株式会社

10月で創業から69年を迎えるロマンス製菓のイチオシ商品は「べっこう飴」です。昔ながらの銅鍋直火製法。飴に透けて見えるアクセントはイタリア・シチリア島の岩塩。三度の選別作業によって粒を揃え、飴に最適な結晶のみを使用していきます。長年に渡り承継されている職人の技に加え、原料にこだわり、手間を惜しまず「美味しさ」と「品質」を追求した、至極の逸品です。



ロマンス製菓 株式会社
電話番号：0152-76-2665
オンラインショップからもお買い求め頂けます
ホームページ：http://romance-hokkaido.jp/

株式会社 山上木工

（株）山上木工は昭和25年に創業の木製家具・家具の製作を行なう会社です。お客様と長い年月をともに過ごす「パートナー」となる家具。徹底した「機械力」と妥協を許さない「職人の技術力」を駆使し、他にはできない最高の商品を森の町津別から世界に届けたい。そんな熱い想いを持ち、新しい取り組みにも積極的にチャレンジし、多くの価値あるオリジナル商品が生まれています。



株式会社 山上木工
電話番号：0152-76-4934
アクセス：網走郡津別町字達美147-6
ホームページ：http://yamagamimokko.co.jp/

第53回さんご草まつり【網走市】 9月10日・11日

【開催場所】能取湖畔(卯原内)【宿泊施設・売店の有無】売店・宿泊施設有【イベント内容】能取湖畔の水辺を真紅に染め上げる美しいさんご草群落を鑑賞しながら、新鮮な秋の味覚を賞味するイベント。【問い合わせ先】卯原内観光協会 TEL(0152)47-2301



写真:さんご草(網走市観光課提供)

第14回めまんべつ白魚(しらうお)まつり【大空町】 9月下旬

【開催場所】道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」【宿泊施設・売店の有無】売店有【イベント内容】網走湖の特産品・白魚(しらうお)を味わえます。白魚のほかにも網走湖の特産品販売あり。※不漁の場合は中止。【問い合わせ先】NPO法人めまんべつ観光協会 TEL(0152)74-4323



写真:メルヘンの丘女満別(めまんべつ観光協会提供)

第64回きたみ菊まつり【北見市】 10月21日(金)~10月31日(月)

【開催場所】JR北見駅南多目的広場、みんとロード【宿泊施設・売店の有無】売店有【イベント内容】全道一の伝統と規模を誇る菊の祭典。「菊人形展」や「菊花展」等の他、多数イベント有。【問い合わせ先】北見市 観光振興課 TEL(0157)25-1244



「道の駅」紹介 Vol.3

網走信用金庫の営業エリアの道の駅をご紹介します!



道の駅 ぐるっとパノラマ美幌峠
網走郡美幌町字古梅(国道243号線沿い)

道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」は国道243号上の玄関口・観光拠点として、快適な休憩機能・観光情報が充実。ここでしか味わえない食事、ここでしか買えないお土産など魅力がいっぱい。2016年じゃらん道の駅ランキングでは堂々の第2位に選ばれています。

取材担当Hおすすめの楽しみ方!

じゃらんの投票ではレストラン・テイクアウト・お土産部門で高得点の「ぐるっとパノラマ美幌峠」。「あげいも」の他にも見逃せないのが「熊笹ソフト」。熱々の「あげいも」と冷たい「熊笹ソフト」を交互に食べるともう止まりません。絶景を眺めながらペロリといけちゃいます。

これを食べてほしい!!

オススメする逸品は、「あげいも」!

元祖「あげいも」。大きなじゃがいも(きたあかり)が丸々2つ付いています。一つ一つ手作業で皮むき・目とりなどの下処理をおこない、独自にブレンドしたころもを付け、ほっくほくに揚げられています。一度食べたら、また食べたくなり、「あげいも」目当てで美幌峠に来るリピータも多いそうです。



おすすめスポット



標高525メートルの頂上からは、屈斜路湖(世界で2番目の大きさのカルデラ湖)が眼下に望め、朝日と雲海が重ると、それはもう神秘的な空間が広がります。

スポーツの秋ということで...

涼しい秋は運動に最適!



秋に行われる マラソン大会

—大空町 東藻琴— 第33回もこと山 ふきおろしマラソン大会

開催日:10月30日(日)
種目:ハーフマラソン、2~10km
昭和59年当時の東藻琴村で始まった伝統あるマラソン大会。標高1000mの藻琴山から吹き降ろす風と共に標高差678mを駆け下るハーフマラソンは走り納めにふさわしい大会です。

—網走市— 第2回オホーツク網走マラソン

開催日:9月25日(日)
種目:フルマラソン、5km、3km
【おすすめのポイント】
網走刑務所や能取岬など網走市の観光スポットを満喫しながら走ることができる大会。完走メダルは、網走刑務所の焼印が入ったオリジナルとなっています。



©OpenStreetMap and contributors
地図はCC BY-SAとしてライセンス



—北見市— 第8回北見ハーフマラソン

開催日:10月9日(日)
種目:ハーフマラソン、2.5・5・10km、親子ペア
初心者にも優しい大会で、ランナーへの地産品プレゼント、北見名物オニオンスープの無料提供、美味しい食べ物屋台などご家族で楽しめるものとなっています。

—清里町— 第39回斜里岳ロードレース大会

開催日:9月18日(日)
種目:ハーフマラソン、5km~1km
ハーフマラソンのコースは、斜里岳の裾野を駆け抜けるアップダウンの激しい超難関コースです。レース後は清里町のローカルフード等の出店や抽選会などの催しがあり楽しめます。

—津別町— つべつ紅葉マラソン大会

開催日:10月2日(日)
種目:ハーフマラソン、3・5・10km
道道屈斜路津別線を走るマラソン大会です。津別の大自然の中で色づきはじめた山々のコントラストを眺めながらスポーツの秋を満喫できます。



編集後記

夏の風物詩である「夏祭り」も終わり、待ちに待った収穫の時期となります。産業まつりなど、各地で様々な収穫イベントが催されます。特にオホーツク地域は美味しい食べ物が数多くあります。秋鮭、サンマなどの海の幸、じゃがいも、玉ねぎなどの野菜、そしてその素材を生かした料理など、考えるだけでもおなかが空いてきます。食べ物がおいしいと、食べ過ぎてしまう事もしばしば。寒くなってくると運動する機会が減ってきてしまう方もいると思います。今の季節、美味しいものをしっかり食べ、その分しっかり運動するというように、カロリー収支のバランスに気をつけたいところです。